

■ 親と子の都市と建築教室 2020（第 20 回）（大阪会場） 活動レポート

<オンラインのまちをつくろう！>

日時： 1 日目 2020 年 8 月 1 日（土） 13：00～16：00

2 日目 2020 年 8 月 2 日（日） 13：00～16：00

会場： Zoom によるオンライン開催

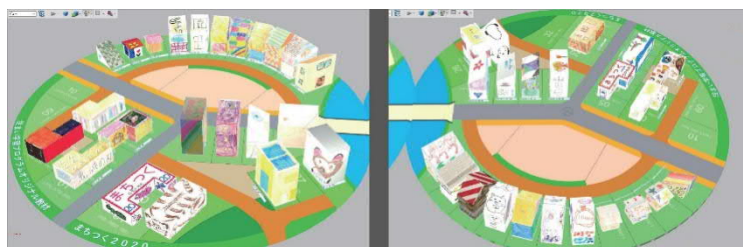
大阪市立住まい情報センター、大阪府建築士会および当支部の 3 団体による共催行事として、子どもたちが設計者となり、親と一緒に「まち」をつくるワークショップが開催されました。20 回目の開催となる今年は、1 日目の参加者が小学生 19 名、学生スタッフ 15 名、2 日目の参加者が小学生 20 名、学生スタッフ 12 名でした。（1 日目、2 日目とも同メニュー）

例年は段ボールを使って、住まい情報センターのホールいっぱい「まち」をつくっていましたが、2020 年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため Zoom を使ってオンラインでの実施となりました。2 日間で 39 名の小学生がものづくりの楽しさを自宅で体験し、3D のバーチャルなまちを完成させました。最初に「バーチャルなまちづくり」について、学生スタッフによるプレゼン、寸劇やクイズを通じて学びました。その後 4 つのチームに分かれて、あらかじめ送付しておいた建物のテンプレートに作りたい建物のスケッチを描いた後、建物を組み立てました。

組み立てた作品はその場で写真を撮って送付してもらい、事務局にて 3D-PDF でまちを作成して参加者に披露しました。子どもたち全員が自分の作品についてプレゼンをし、Zoom 画面上で記念撮影を行いました。チームごとに「ワクワクチームワーク賞」「シビれるデザインで賞」「サイセンタンのミライで賞」「このまちに住みたいで賞」の各賞と、「20 周年まちつく大賞」が 1 チームに贈られ、各賞のシールと缶バッジの記念品を贈呈（郵送）しました。

初のオンライン開催でうまくいくか心配されましたが、こどもたちも楽しんでくれ、主催者にとっても、また学生スタッフにとっても、多くの学びと経験を得た 2 日間となりました。4 月からオンラインで打ち合わせを重ねて「まちつく」の成功にご尽力いただいた、住まい情報センターと大阪府建築士会の関係各位、学生スタッフには、心より感謝いたします。

柳沢究、西影武知／近畿支部常議員、神澤宏明／近畿支部代議員、佐藤祐一／近畿支部



完成した「まち」と集合写真